

CITIZEN®

取扱説明書

China	BPC
Japan	JJY

Europe	DCF77
North America	WWVB

JP この時計が、受信可能な標準電波は表の通りです。

この時計の機種番号: H24*/H29*

このたびは、シチズンウォッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いくださいますようお願い申し上げます。

Web取扱説明書

QRコードより、この時計のWeb取扱説明書をご覧ください。

H24*:

[citizen.jp/support/guide/html/
h24/h24.html](http://citizen.jp/support/guide/html/h24/h24.html)



H29*:

[citizen.jp/support/guide/html/
h29/h29.html](http://citizen.jp/support/guide/html/h29/h29.html)






- 最新情報やお知らせなどはこちらをご覧ください。
- 外装機能(計算尺、タキメーターなど)の操作方法もご覧ください。外装機能の搭載は、モデルによって異なります。



安全にお使いいただくために—必ずお読みください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。絵表示の意味をよく理解してから、**70～81**ページを必ずお読みください。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

この時計の特長

■ 電波時計

世界4地域5局の送信所からの電波を受信して、正確な時刻・カレンダーに自動で修正します。

■ エコ・ドライブ

光で充電するため、定期的な電池交換がいりません。

■ Perfex(パーフェックス)

衝撃や磁気による時針・分針・秒針のずれを防ぎ、正確な時刻表示を保ちます。

Perfex
パーフェックス

■ ワールドタイム

世界の24のタイムゾーンを選んで時刻を表示することができます。

■ パーペチュアルカレンダー (H24*)

2100年2月28日まで月末やうるう年のカレンダー修正は不要です。

*「エコ・ドライブ」「Perfex(パーフェックス)」は、シチズン独自の技術です。

もくじ

ご使用になる前に.....	8
バンド調整について.....	9
保護シールについて.....	9
特殊な構造のりゅうずやボタンの使いかた.....	10
各部の名称.....	12
充電残量を確認する.....	14
ワールドタイム.....	16
タイムゾーンの設定を確認する.....	16
タイムゾーンを設定する.....	21

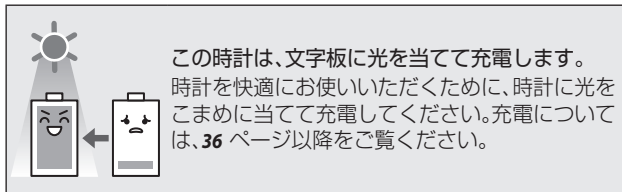
サマータイム	22
現在の表示時刻を確認する.....	24
サマータイムと標準時刻の表示を切り替える	26
前回の電波受信の結果を確認する	32
電波を手動で受信する(強制受信)	34
充電について	36
電波受信について	42
時刻・カレンダーを手動で合わせる	49
H24*	49
H29*	54

困ったときは	56
基準位置を確認・修正する	56
H24*	56
H29*	60
時計の状態と対処方法	63
オールリセットする	68
エコ・ドライブ取り扱い上の注意	70
防水性能について	72
お取り扱いにあたって	74
製品仕様	82

ご使用になる前に

時計をご使用になる前に、必ず以下の3つのことを行ってください。

- 1 現在の充電残量を確認する(14 ページ)
- 2 ワールドタイムを設定する(16 ページ)
- 3 電波受信の結果を確認する(32 ページ)



■バンド調整について

お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする恐れがあります(製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く)。

バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

■保護シールについて

時計のガラスや金属部分(裏ぶた、バンド、中留め)にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。





ご使用になる前に

■特殊な構造のりゅうずやボタンの使いかた

モデルによっては、誤操作を防ぐため、次のような構造のりゅうずやボタンの場合があります。

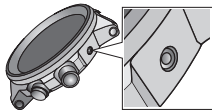
ねじロックりゅうず・ねじロックボタン

時計を操作するときは、ロックを解除してください。

	ロックを解除する		再びロックする	
ねじロック りゅうず		りゅうずが飛び出すまで、左に回す		りゅうずを押し込みながら右に回し、しっかり締める
ねじロック ボタン		ねじを左に回し、止まるまでゆるめる		ねじを右に回し、しっかり締める

隠しボタン

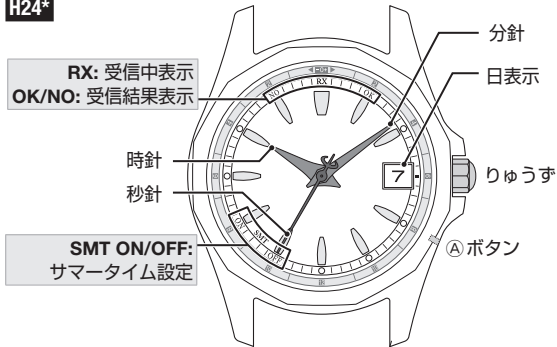
ボタンを押すときは、先の細いものなどで押してください。



- 金属製のものですとボタンを傷つける恐れがありますので注意してください。

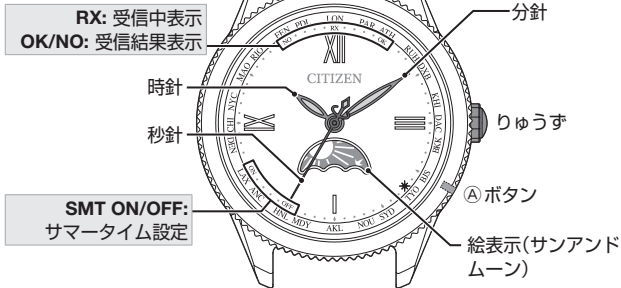
各部の名称

H24*



・お買い上げいただいた時計は、イラストと異なる場合があります。

H29*



- お買い上げいただいた時計は、イラストと異なる場合があります。

充電残量を確認する

秒針の動きで充電残量をお知らせします。



1 りゅうずの位置を0にする

2 右下の(A)ボタンを押す

時計の充電残量に応じて、秒針が次のように動きます。

秒針の動き	充電残量の状態
すみやかに「OK」または「NO」を指す	十分充電されています
秒針が一度反時計回りに動き、その後「OK」または「NO」を指す	充電が必要です

- 「OK」「NO」は電波の受信結果の表示です。充電残量とは関係ありません。



3 右下のⒶボタンを押して終了する

- ボタンを押さなくても、10秒間経過すると自動で戻ります。

ワールドタイム

この時計は、UTC(協定世界時)基準の24のタイムゾーンを設定することで、世界の各地域の時刻を表示させることができます。

■タイムゾーンの設定を確認する



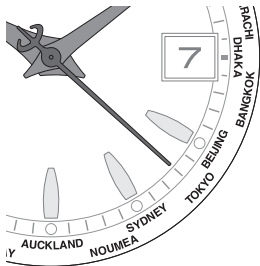
- 1 りゅうずの位置を[1]にする**
秒針が、現在のタイムゾーンの設定を表示します。
- 2 確認が終わったら、りゅうずの位置を[0]にして終了する**
通常表示に戻ります。

タイムゾーンの設定の見かた

タイムゾーンの設定は秒針の位置で表されます。タイムゾーンと秒針の位置の対応については、**19**ページの表をご覧ください。

■例

図では、秒針が22秒(タイムゾーン+9)を指しています。タイムゾーン+9には東京が含まれます。



タイムゾーンと秒針の位置について

- タイムゾーンの設定は次の表のように秒針の位置で表されます。
- 表中のタイムゾーンの数値は、各地域の標準時とUTCの時差です。
- 主要都市がどのタイムゾーンに含まれるかについては以下のwebページをご覧ください。

https://citizen.jp/support/guide/html/h29/worldtime_04_h29.html

- 時計に内蔵されているタイムゾーンの情報、時計の発売開始時点のものです。
- 「受信局」に◆マークのついているタイムゾーンでは、受信範囲外のため実際には標準電波は受信できません。サマータイムと標準時刻の切り替えは、手動で行う必要があります。
- 電波の届きにくい環境では、電波を受信できないことがあります。

タイムゾーン	秒針の位置	受信局
0	0秒	ドイツ
+1	3秒	
+2	5秒	◆ドイツ
+3	8秒	
+4	10秒	
+5	13秒	◆中国
+6	15秒	
+7	17秒	
+8	20秒	中国
+9	22秒	日本
+10	25秒	◆日本
+11	27秒	

ワールドタイム

タイムゾーン	秒針の位置	受信局
+12	30秒	◆日本
-11	33秒	◆アメリカ
-10	35秒	
-9	38秒	
-8	40秒	アメリカ
-7	43秒	
-6	45秒	
-5	47秒	◆アメリカ
-4	50秒	
-3	52秒	
-2	55秒	◆ドイツ
-1	57秒	

■ タイムゾーンを設定する



1 りゅうずの位置を①にする

秒針が、現在のタイムゾーンの設定を表示します。

2 りゅうずを回し、タイムゾーンを選ぶ

- タイムゾーンの設定は秒針の位置で表されます。タイムゾーンと秒針の位置の対応については、19ページの表をご覧ください。
- 現在と異なるタイムゾーンを選ぶと、時刻とカレンダーの表示も切り替わります。

3 りゅうずの位置を①にして、終了する

通常表示に戻ります。

サマータイム

■サマータイムについて

サマータイムとは、夏期の時刻を標準時刻よりも進め、日中の時間を有効活用するための制度で、欧米を中心に導入されています。

- 標準電波には、サマータイム信号(サマータイム実施期間中かそうでないかを伝える信号)が含まれています。
- サマータイムの実施期間は、国や地域によって異なります。
- サマータイム制度は、国や地域の事情により変更される場合があります。

サマータイム設定について

- この時計は、サマータイム信号を受信して、サマータイムと標準時刻の表示を自動で切り替えることができます。
- サマータイム設定は、手動で切り替えることもできます。
- サマータイム設定は、タイムゾーンごとに行います。
- 北アメリカおよびヨーロッパの一部のタイムゾーンでは、サマータイムと標準時刻の表示の切り替えが連動します。詳しくは**31**ページをご覧ください。

■現在の表示時刻を確認する

現在の表示時刻がサマータイムなのか標準時刻なのかを確認することができます。



1 りゅうずの位置を2にする

秒針が、現在のサマータイム設定を指します。

秒針の表示	現在の表示時刻
SMT ON	サマータイム
SMT OFF	標準時刻





- モデルによっては、「SMT」の記載がない場合があります。

2 確認が終わったら、りゅうずの位置を0にして終了する 通常表示に戻ります。

■ サマータイムと標準時刻の表示を切り替える

サマータイムを表示させたい場合



1 りゅうずの位置を[1]にする

秒針が、現在のタイムゾーンの設定を表示します。

2 りゅうずを回し、サマータイム設定を変更したいタイムゾーンを選ぶ

・タイムゾーンの設定は秒針の位置で表されます。
タイムゾーンと秒針の位置の対応については、
19ページの表をご覧ください。

3 りゅうずの位置を[2]にする

秒針が、現在のサマータイム設定を指します。



4 りゅうずを回して、「SMT ON」を選ぶ



5 りゅうずの位置を0にして、終了する

- 今後、サマータイムと標準時刻の表示は、サマータイム信号の内容に応じて自動的に切り替わります。

標準時刻を表示させたい場合



1 りゅうずの位置を①にする

秒針が、現在のタイムゾーンの設定を表示します。

2 りゅうずを回し、サマータイム設定を変更したいタイムゾーンを選ぶ

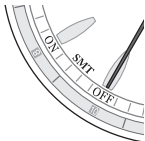
- ・タイムゾーンの設定は秒針の位置で表されます。タイムゾーンと秒針の位置の対応については、19ページの表をご覧ください。

3 りゅうずの位置を②にする

秒針が、現在のサマータイム設定を指します。



4 りゅうずを回して、「SMT OFF」を選ぶ



5 りゅうずの位置を0にして、終了する

- ・サマータイム信号の受信の有無にかかわらず、常に標準時刻が表示されます。

■ サマータイムの自動切替について

標準電波が受信できる場合、この時計はサマータイムと標準時刻の表示を自動で切り替えることができます。

サマータイム期間になると、標準電波には今がサマータイム期間中であるという情報が含まれるようになります。時計はその情報を受信して、表示する時刻を自動的にサマータイムにします。サマータイム期間が終了する時も同様です。

サマータイムと標準時刻が自動で切り替わるようにするためには、サマータイム設定を「**SMT ON**」にしてください(→26 ページ)。

- サマータイム期間中でないときにこの操作を行うと一時的にサマータイムが表示されますが、標準電波を受信すると標準時刻の表示に戻ります。

■北アメリカおよびヨーロッパでお使いの方へ

次の表に含まれるタイムゾーンでは、あるタイムゾーンでサマータイム信号を受信すると、同一受信局の他のタイムゾーンでも、サマータイムと標準時刻の表示が切り替わります。

- あるタイムゾーンでサマータイム設定を手動で「**SMT OFF**」に変更した場合は、そのタイムゾーンでは常に標準時刻が表示されます。

受信局	タイムゾーン				
アメリカ	-9	-8	-7	-6	-5

受信局	タイムゾーン			
ドイツ	0	+1	+2	-1

前回の電波受信の結果を確認する



1 りゅうずの位置を0にする

2 右下の(A)ボタンを押す

秒針が、前回の電波受信の結果を指します。

OK	受信に成功しました。
NO	受信に失敗しました。

受信に成功している場合



- もう一度、ボタンを押すと、通常表示に戻ります。ボタンを押さなくても、10秒間経過すると、自動で通常表示に戻ります。
- 電波の受信後にりゅうずを操作した場合、前回の受信結果にかかわらず秒針は「**NO**」を指します。

電波を手動で受信する(強制受信)

- 電波受信について詳しくは、「電波受信について」(→42 ページ)をお読みください。
- 受信が完了するまでに最大約30分かかります。
- タイムゾーンの設定によって、受信する電波は異なります。詳しくは、19 ページの表をご覧ください。

1 りゅうずの位置を0にする

2 右下の(A)ボタンを2秒間以上押し続ける

秒針が前回の電波受信の結果を指します。

その後、秒針が「RX」を指して電波受信が始まります。



3 電波受信しやすい環境に時計を置く

秒針が「RX」を指している間は、できるだけ時計を動かさないようにします。

受信が終わると通常表示に戻ります。

受信を中断したいときは

秒針が「RX」を指している間に、ボタンを2秒間以上押し続けると、受信が中断され、通常表示に戻ります。

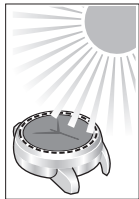
充電について

この時計は、文字板の下にあるソーラーセルによって発電された電気エネルギーを、内蔵の二次電池に蓄えることができます。

充電は、文字板に直射日光や蛍光灯などの光が当たると行われます。

次のような充電を心がけると、時計を快適にご使用いただけます。

- 時計を使用しないときでも、太陽光の当たる窓際などの明るい場所に置く
- 月に一度は時計の文字板を太陽に向けて、5～6時間直射日光に当てる
- 光の当たらない場所で長期保管をしない



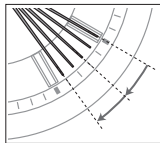
注意

- 故障の原因となりますので高温下(約60℃以上)での充電はおやめください。
 - 衣服などで時計が隠れて光に当たらないと、十分に充電できないのでご注意ください。
-
- 充電完了後、時計は自動で充電を停止します(過充電防止機能)。充電のしすぎによって、時計や二次電池の性能が損なわれることはありません。

■充電不足になると(充電警告機能)

充電不足になると「充電警告機能」が働き、秒針が2秒ごとに動きます(2秒運針)。すみやかに文字板に光を当てて充電してください。

- 充電すると、秒針が1秒ごとに動くようになります(通常運針)。
- 2秒運針が数日間続くと、充電不足で時計が停止します。



充電警告中(2秒運針中)は

時刻やカレンダーは正しく表示されます。その他の機能は使用できません。

■環境ごとの充電時間の目安

連続して照射した場合の数値です。目安としてご利用ください。

- ・直射日光での充電をおすすめします。蛍光灯や屋内照明では、十分に充電するには明るさが足りません。

H24*

環境	明るさ (lx、ルクス)	充電時間(約)		
		通常に動く状態を1日保つ	時計が停止してから通常に動き出すまで	時計が停止してから充電完了まで
屋外(晴天)	100,000	3分	2.5時間	35時間
屋外(曇天)	10,000	10分	3時間	50時間
30W蛍光灯の20cm下	3,000	35分	5時間	170時間
屋内照明	500	3.5時間	25時間	—

H29*

環境	明るさ (lx、ルクス)	充電時間(約)		
		通常に動く状態を1日保つ	時計が停止してから通常に動き出すまで	時計が停止してから充電完了まで
屋外(晴天)	100,000	2分	2.5時間	40時間
屋外(曇天)	10,000	9分	3時間	60時間
30W蛍光灯の20cm下	3,000	30分	5時間	160時間
屋内照明	500	3時間	25時間	—

パワーセーブ機能

暗所などで時計が発電できない状態が続いたとき、節電のために針を自動で停止させる機能です。

- パワーセーブ中も、時計は正しく動作しています。ただし、電波受信は行われません。
- りゅうずの位置が①や②のとき、パワーセーブ機能は働きません。
- 文字板に光が当たって発電が始まると、パワーセーブは解除され、通常表示に戻ります。通常表示に戻る際、針や表示が高速で動くことがあります。

充電完了後、一度も充電しないで時計が停止するまでの期間
製品仕様(82 ページ)をご覧ください。

電波受信について

電波受信の種類

この時計は、次の3つの方法で電波を受信します。

タイプ	用途
定時受信	一日に一度、夜間に自動で受信します。
手動受信 (強制受信)	必要なときに、手動で電波受信を始めることができます。
復活自動受信	充電不足により時計が止まった場合に、十分に充電されると、自動で開始されます。

- 電波を正しく受信しても、受信環境や時計の内部処理により、時刻表示にわずかなずれが生じることがあります。
- 標準電波が受信できない場合でも、時計は月差±15秒以内の精度で動き続けます。

■電波を受信するときは

標準電波を受信するときは、りゅうずの位置を①にして時計を腕から外し、窓際など電波を受信しやすい安定した場所に置きます。

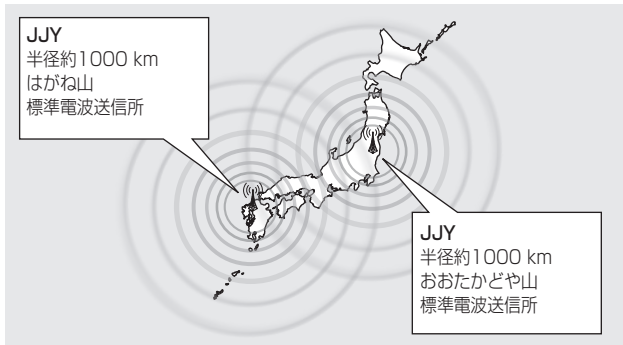
- 窓ガラスに網が入っている場合は、窓を開けるか場所を変えてください。
- 電波受信用のアンテナは、この時計の8時位置に組み込まれています。時計の8時位置を電波送信所の方向に向けて置いてください。
- 電波の受信中は時計を動かさないでください。
- 秒針が2秒ごとに動いているとき(充電警告中)は、電波受信は行われません。先に、充電を行ってください。

■標準電波について

この時計は、世界4地域5局の標準電波送信所から送信される時刻情報を受信し、時刻と日を自動修正する電波時計です。

送信所	標準電波
日本 おおたかどや山標準電波送信所(福島局)	JJY
日本 はがね山標準電波送信所(九州局)	
アメリカ フォートコリンス送信所(コロラド州デンバー)	WWVB
ドイツ マインフリンゲン送信所(フランクフルト南東)	DCF77
中国 河南省商丘市送信所	BPC

距離は目安としてご利用ください。受信可能地域は、時間帯、季節変化、天候(雷など)などの影響により、変化する場合があります。

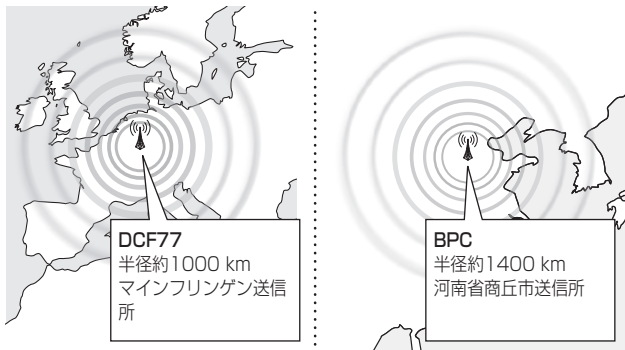


電波受信について

距離は目安としてご利用ください。受信可能地域は、時間帯、季節変化、天候(雷など)などの影響により、変化する場合があります。



距離は目安としてご利用ください。受信可能地域は、時間帯、季節変化、天候(雷など)などの影響により、変化する場合があります。



■受信が困難な場所

次のような電波ノイズが発生しやすい場所や、標準電波の届きにくい環境では、電波を受信できないことがあります。

- 極端に高温や低温の場所
- 乗り物の中
- 電化製品やOA機器の近く
- 高圧線(電線)、電車の架線、飛行場(通信施設)の近く
- 鉄筋コンクリートの建物の中、高層ビルや山などの谷間、地下
- 通信中の携帯電話やスマートフォンの近く

時刻・カレンダーを手動で合わせる

H24*

- この時計のカレンダーは、正しく設定され途中で停止することがなければ、2100年2月28日まで修正する必要はありません。(パーペチュアルカレンダー)



1 りゅうずの位置を**2**にする

2 右下の**A**ボタンを押す

秒針が0秒を指します。

3 りゅうずを回して、分を合わせる

- 1分単位で合わせることができます。1分ごとに、秒針が1回転します。
- りゅうずを素早く連続回転させると、針・表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。



4 右下の(A)ボタンを押す

時針がわずかに動きます。

5 りゅうずを回して、時と日を合わせる

- 日表示が切り替わったときが、午前0時です。午前・午後の違いに注意します。
- 時針と日表示は連動します。
- りゅうずを素早く連続回転させると、針・表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。



6 右下の(A)ボタンを押す

秒針が、現在の月と年の設定を指します。

7 りゅうずを回して、年と月を合わせる

・年と月は秒針で表示されます。**52~53** ページを参考にして合わせてください。

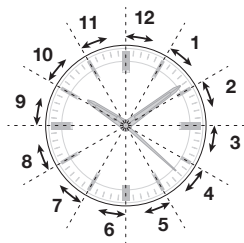
8 時報に合わせて、りゅうずの位置を0にして終了する

通常表示に戻り、秒針が0秒から動き出します。

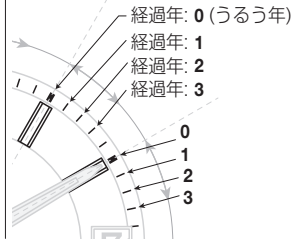
■年と月の設定について

この時計の年と月は、秒針の指す位置によって設定されます。

月は、12本の矢印の範囲で表示されます。

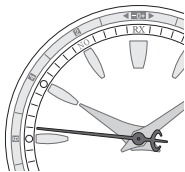


年は、各月の範囲ごとの0~3の目盛りで表示されます。この目盛りは、「うるう年からの経過年」に対応しています。



時刻・カレンダーを手動で合わせる (H24*)

年					うるう年からの経過年	目盛りの位置
2020	2024	2028	2032	2036	0 (うるう年)	「0」
2021	2025	2029	2033	2037	1	「1」
2022	2026	2030	2034	2038	2	「2」
2023	2027	2031	2035	2039	3	「3」



例: 2021年9月を設定するときの秒針の位置
 2021年は、表より経過年が「1」なので、秒針は、9月の範囲の1目盛り目を指すことがわかります。

H29*



1 りゅうずの位置を[2]にする

2 右下の(A)ボタンを押す

秒針が0秒を指します。

3 りゅうずを回して、分を合わせる

・1分単位で合わせることができます。1分ごとに、秒針が1回転します。

・りゅうずを素早く連続回転させると、針・表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。

4 右下の(A)ボタンを押す

時針がわずかに動きます。



5 りゅうずを回して、時を合わせる

- 絵表示(サンアンドムーン)で月が真上にきたときが、午前0時です。午前・午後の違いに注意します。
- 時針と絵表示(サンアンドムーン)は連動します。
- りゅうずを素早く連続回転させると、針・表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。

6 時報に合わせて、りゅうずの位置を0にして終了する

通常表示に戻り、秒針が0秒から動き出します。

困ったときは

■ 基準位置を確認・修正する

時刻情報を適切に受信しても時刻・カレンダーが正しく表示されないなどの場合、現在の基準位置が正しいかどうか確認します。

- 基準位置とは、時刻・カレンダーを表示するために基準としている、各針/表示の位置のことです。
- 各表示が正しい基準位置からずれていると、時刻情報を受信しても、時刻・カレンダーが正しく表示されません。

H24*

正しい基準位置

- 時針/分針/秒針の位置：0時00分0秒
- 日表示の位置：「31」と「1」の間





1 りゅうずの位置を①にする

2 右下のⒶボタンを5秒間以上押し続ける

各針と表示が現在の基準位置に移動します。

- ・各針が動き始めたら、ボタンを離します。
- ・各針と表示の動きが止まったら、次に進みます。

3 基準位置を確認する

前ページの☒を参考にします。

正しい	修正の必要はありません。りゅうずの位置を②にして終了します。
ずれている	手順4に進み、基準位置を修正します。



4 りゅうずの位置を②にする

時針がわずかに動きます。

5 りゅうずを回して、時針と日表示を正しい基準位置に合わせる

- 時針と日表示は連動します。
- りゅうずを素早く連続回転させると、針・表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。

6 右下のⒶボタンを押す

分針と秒針が少し動きます。

- 動かないときは、正しい基準位置にあります。



7 りゅうずを回して、分針と秒針を正しい基準位置に合わせる

- 正しい基準位置にあるときは、りゅうずを回しても動かない場合があります。
- 正しい基準位置から外れているのに、りゅうずを回しても動かない場合は、弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。

8 りゅうずの位置を0にして、終了する通常表示に戻ります。

H29*

正しい基準位置

- 時針/分針/秒針の位置: 0時00分0秒
- 絵表示(サンアンドムーン)の位置: 月が真上





1 りゅうずの位置を①にする

2 右下のⒶボタンを5秒間以上押し続ける

各針と表示が現在の基準位置に移動します。

- ・各針が動き始めたら、ボタンを離します。
- ・各針と表示の動きが止まったら、次に進みます。

3 基準位置を確認する

前ページの☒を参考にします。

正しい	修正の必要はありません。りゅうずの位置を☒にして終了します。
ずれている	手順4に進み、基準位置を修正します。



4 りゅうずの位置を[2]にする

時針と絵表示(サンアンドムーン)がわずかに動きます。

5 りゅうずを回して、時針と絵表示(サンアンドムーン)を正しい基準位置に合わせる

・時針と絵表示(サンアンドムーン)は連動します。

6 りゅうずの位置を[0]にして、終了する

通常表示に戻ります。

時計の状態と対処方法

時計の状態	対処方法	ページ
電波受信ができない		
秒針が「RX」を指さない	充電が必要なときは、先に時計を充電します。	14, 36
	りゅうずの位置を0にします。	34
	時計の現在の基準位置を確認し、正しくない場合は修正します。	56

時計の状態	対処方法	ページ
電波受信ができない(つづき)		
受信しても、受信結果が「NO」になる	電波受信が可能な地域を確認します。	44
	タイムゾーンの設定を確認します。	16
	電波を受信するときは、時計を腕から外し、電波送信所方面の窓際など電波を受信しやすい安定した場所に置きます。	43, 48
	電波の受信後にりゅうずを操作した場合、前回の受信結果にかかわらず秒針は「NO」を指します。	-

時計の状態	対処方法	ページ
針の動きがおかしい		
秒針が2秒ごとに動く	充電警告機能が働いています。時計の充電量が残りわずかです。すぐに充電してください。	38
秒針が動かない	りゅうずの位置を回にします。	-
すべての針が動かない	秒針が1秒ごとに動くまで、直射日光で充電します。	39
針が急に高速で回りだす	パワーセーブが解除されています。現在の時刻・カレンダーが表示されるまでお待ちください	41

時計の状態	対処方法	ページ
時刻やカレンダーがおかしい		
時刻・カレンダーが正しくない	タイムゾーンの設定を確認します。	16
	サマータイムの設定を確認します。	24
	電波を受信して、時刻・カレンダーを合わせます。	34
	手動で時刻・カレンダーを合わせます。	49
	基準位置を確認・修正します。	56
時刻・カレンダーを手動で合わせても、すぐに正しくなくなる	基準位置を確認・修正します。	56

時計の状態	対処方法	ページ
サマータイム・標準時刻が、自動で切り替わらない	サマータイム設定を「 SMT ON 」にして、電波を受信します。	30
	サマータイム実施地域で、電波受信をします。	42
サマータイム実施期間中なのに標準時刻が表示される	電波を手動で受信します。	34
	サマータイム設定を「 SMT ON 」に変更します。	26
サマータイム実施期間中ではないのにサマータイムが表示される	電波を手動で受信します。	34
	サマータイム設定を「 SMT OFF 」に変更します。	28

■ オールリセットする

時計の動作が不安定なときなど、すべての設定をリセットすることができます。充電量が少ないときは、先に充電を行ってください。

オールリセットした後は、必ず次の操作を行ってください。

1 基準位置を合わせる

オールリセットをすると、時計は基準位置合わせの状態になります。「基準位置を確認・修正する」(56 ページ)の手順5以降をご覧ください。

2 ワールドタイムを設定する

21 ページをご覧ください。

3 時刻・カレンダーを合わせる

電波を手動で受信して合わせる場合→34 ページ
手動で合わせる場合→49 ページ



1 りゅうずの位置を[2]にする

2 右下の(A)ボタンを7秒間以上押し続け、離す針が動き始め、オールリセットが行われます。

- 時計の動きが止まるまで、最長で6分間程度かかる場合があります。完全に動きが止まるまで、お待ちください。

オールリセット後の各設定	
時刻	午前0時0分0秒
カレンダー(H24*)	うるう年の1月1日
ワールドタイム	時差0
サマータイム設定	全ての地域で、 SMT OFF

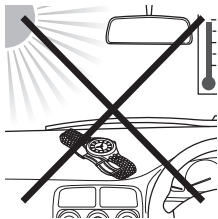
エコ・ドライブ取り扱い上の注意

《時計は常に充電を心がけてお使いください》

- 日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。
- 時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

⚠ 注意 充電上の注意

- ・ 充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので高温(約60℃以上)での充電は避けてください。
例)
 - 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電。白熱灯で充電するときは、必ず50 cm以上離して時計が高温にならないように注意して充電してください。
 - 車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電



《二次電池の交換について》

- この時計に使われている二次電池は充電を繰り返し行えるため、従来の一次電池のように定期的な電池交換の必要はありません。
ただし、長期間使用されますと、歯車の汚れ、油切れなどにより電流消費が大きくなり時計の持続時間が短くなることがあります。

警告 二次電池の取り扱いについて

- お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。万一、二次電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
- 一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町村の指示に従ってください。

警告 指定の二次電池以外は使わないでください

- この時計に使われている二次電池以外の電池は、絶対に使用しないでください。他の種類の電池を組み込んででも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池など、他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。







防水性能について

警告 防水性能について

- ・時計の文字板及び裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下表を参照して正しくご使用ください。(1 barは約1気圧に相当します)
- ・WATER RESIST (ANT) × × barはW.R. × × barと表示している場合があります。
- ・非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- ・日常生活用防水時計(3気圧防水)は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。

名称	表示	仕様
	文字板または裏ぶた	
非防水時計	—	非防水
日常生活用防水時計	WATER RESIST	3気圧防水
日常生活用強化防水時計	W. R. 5 bar	5気圧防水
	W. R. 10/20 bar	10気圧防水、20気圧防水

- 日常生活用強化防水時計(5気圧防水)は、水泳などには使用できますが、素潜り(スキューバダイビング)やスクーバ潜水などには使用できません。
- 日常生活用強化防水時計(10/20気圧防水)は、素潜りには使用できますが、スクーバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

使用例					
					
水がかかる程度 の使用。(洗顔、 雨など)	水仕事や一般 水泳に使用。	スキューバ ダイビング、マリン スポーツに使用。	空気ポンベを 使用するス クーバ潜水に 使用。	ヘリウムガス を使用する飽 和潜水に使用。	水滴がついた 状態でりのり ゆずやボタンの 操作。
×	×	×	×	×	×
○	×	×	×	×	×
○	○	×	×	×	×
○	○	○	×	×	×

お取り扱いにあたって

注意 人への危害を防ぐために

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- 時計をしたまま就寝しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

注意 使用上の注意

- りゅうずは常に押し込んだ状態(通常位置)でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- 水分のついたままりゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- 時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
 - 海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布で良くふきとる。
 - 水道水を蛇口から直接時計にかけない。
 - 入浴するときは時計をはずす。
- 時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。
時計内部の圧力が高まり、部品(ガラス、りゅうず、プッシュボタンなど)が外れる危険があります。

注意 携帯時の注意

<バンドについて>

- 皮革バンドやウレタンバンド(ゴムバンド)は、汗や汚れにより劣化します。また皮革バンドは自然素材のため磨耗や変形、変色などの経年劣化があります。定期的に交換してください。
- 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。(脱色、接着はがれ)また、かぶれの原因にもなります。
- 皮革バンドに揮発性薬品、漂白剤、アルコール成分が含まれる物質(化粧品など)が付着しないようにしてください。色落ち、早期劣化の原因となります。また、直射日光などの紫外線も変色や変形の原因となります。
- 皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ウレタンバンド(ゴムバンド)は、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの(衣類、バッグ等)と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取替えください。

- 以下の場合は、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
 - 腐食により、バンドに異常が認められたとき
 - バンドのピンが飛び出しているとき
- お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする恐れがあります(製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く)。
バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

<温度について>

- 極端な高温/低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

<磁気について>

- アナログ式クォーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。
磁気の強い健康器具(磁気ネックレス・磁気健康腹巻など)、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー一部、電磁調理器などに近づけないでください。

<ショックについて>

- ・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

<静電気について>

- ・クォーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

<化学薬品・ガス・水銀について>

- ・化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含むもの(ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など)が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

<保護シールについて>

- ・時計のガラス部分や金属部分(裏ぶた、バンド、中留め)にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

注意 時計は常に清潔に

- りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ケースやバンドは、直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にご使用ください。
- ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師に相談してください。汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、はけなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドは、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

時計のお手入れ方法

- ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- 金属バンド・プラスチックバンド・ウレタンバンド(ゴムバンド)は水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで除去してください。
- 皮革バンドは乾いた布などで拭いて汚れを除去してください。
- 時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。

この塗料は太陽光や室内照明(白熱灯を除く)などの光を蓄え、暗い所で発光します。

- 蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ(輝度)は落ちていきます。
- 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間や蓄光塗料の量などによって、発光する時間に差異が生じます。
- 光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

製品仕様

機種	H24*/H29*	型式	アナログソーラーパワーウォッチ
時間精度 (非受信時)	平均月差± 15秒 常温(+5℃~+35℃)携帯時		
作動温度 範囲	-10℃~+60℃		
表示機能	H24*: ・時刻: 時・分・秒 ・カレンダー: 日	H29*: 時・分・秒・ 絵表示(サンアンドムーン)	
持続時間	・充電完了後、一度も充電しないで時計が停止するまで 通常使用時: 約6ヵ月(H24*)/約11ヶ月(H29*) パワーセーブ時: 約3年(H24*)/約4年(H29*) ・充電警告が始まってから時計が停止するまで: 約3日		
使用電池	二次電池(ボタン型リチウム電池) 1個		

付加機能	<ul style="list-style-type: none">• 光発電機能• 過充電防止機能• 充電警告機能(2秒運針)• 充電残量表示機能(充電レベル表示はありません)• パワーセーブ機能(節電機能)• 電波受信機能(定時受信/強制受信/復活自動受信)• 対応局:日本局(東/西)、アメリカ局、ドイツ局、中国局• 受信局自動選択機能(日本標準電波専用)• 受信中表示機能(RX)• 受信結果表示機能(OK/NO)• ワールドタイム機能(24地域)• サマータイム機能(SMT ON/OFF、切替機能の自動/手動設定)• パーペチュアルカレンダー(2100年2月28日まで)(H24*)• Perfex (パーフェックス)—JIS1種耐磁性能/衝撃検知機能/針補正機能
------	---

製品仕様は、改良のため、予告なく変更することがあります。

<https://citizen.jp/>

Cal.H24*

Cal.H29*